

出版物のご紹介



『SDGsの経営・事業戦略への導入と研究開発テーマの発掘、進め方』

出版日：2022/1/30

発行：技術情報協会

共著：青木 崇

(大阪国際大学経営経済学部経営学科准教授)

第3章第5節、「事業機会に向けた日本企業のSDGs達成の経営実践」を分担執筆



イベント情報

トドラーデー（園開放）

幼保連携型認定こども園 大阪国際大和田幼稚園

5/17（火）10：00～11：00

場所：大阪国際大和田幼稚園ホール・バス

内容：・幼稚園のバスに乗ってみよう！（動かないよ）
・ようちえんホールで遊ぼう！



*スケジュールは変更になることもあります。

ーさらにいろんな情報をご紹介します。ー



facebook.com/kuskusOIEI



Instagram.com/kuskusoiei



https://www.oiei.jp/kusutto/

こちらのホームページでくすくすバックナンバー等をご覧いただけます。

大阪国際中学校高等学校 キャンパス紹介！

今月は和室教室をご紹介します。

礼儀と作法を通して、和の心と文化に触れる小笠原流礼法を学ぶ場です。日本家屋の伝統様式である「竿縁天井」や「聚楽壁」が使われ、土間の先に日本庭園が広がります。



くすくすは来月より当面の間お休みします！

2022年5月1日発行
大阪府守口市藤田町6-21-57
学校法人大阪国際学園 総務課
koho@oiu.jp

(※組織変更のため部署名が変更になりました。)



くすくす

ーまなび・くらし・つながりー

2022年5月号

No.106



名前『くすくす』の由来は、「くすくす談笑する様子」と「すくすく育つ」をかけています。

『くすくす』は、みなさまの「くらし」と大阪国際学園の「まなび」をつなげたい、そんな思いを込めたフリーペーパーです。

つながりニュース

～短期大学部と地域とのつながり～

幼児保育学科の自治体連携による子育て支援活動
「わくわくランド」を開催（3/27）

テーマ：木片で作って遊ぼう

対象：幼児と保護者

場所：守口キャンパス

担当：幼児保育学科 渡邊詩子 准教授



「わくわくランド」：幼児保育学科の地域の子育て支援活動
「地域に根差した子育て支援」と「学生の実践的な学びの場」

活動目的：京阪沿線で唯一の保育者養成校として、自治体と連携した子育て基盤づくりを展開。地域の若者を育て、地域の園に還す循環型活動。



上記を記載する
HP(動画含む)

YouTube「幼児保育学科の魅力」

- ・わくわくランド
- ・ラジオ出演
- ・園の先生の目を通じて見た子どもたち
- ・園児と毎日会えるキャンパス他



地域防災啓発活動

プレッパーズ部による「避難所エクササイズ動画」

地域防災啓発活動に取り組むプレッパーズ部が、避難所生活など狭い範囲で行える「主に下肢を使う運動の動画」を作成しました。大きく動くことで筋力トレーニングになり、守口市歌に合わせて楽しく動ける内容です。
下記のQRコードを読み取りご視聴いただけます。



担当教員：人間科学部人間健康科学科 西岡ゆかり 准教授
構成：エクササイズの説明、エクササイズ（6分48秒）
協力：守口市 危機管理室



←YouTubeでご視聴いただけます。

ステキな名言集

さまざまな場面で心に響く言葉や印象深い言葉が生まれることがあります。そんな『名言』といわれるものをご紹介します。今月は「友情」をテーマにした名言です。

友人のために私がしてあげられる一番のこと、それは、ただ友人でいてあげること

The most I can do for my friend is simply to be his friend.

ヘンリー・デイヴィッド・ソロー（作家、思想家、詩人、博物学者）

見えないところで、私のことを良く言っている人は、私の友人である

He's my friend that speaks well of me behind my back.

トーマス・フラー（聖職者、歴史家）

よき友を持つものは、自分の方でもよき友

になれるものでなければならない。

自分だけが得すること、他人に不可能である

武者小路実篤（小説家、詩人、劇作家、画家）

友情は喜びを二倍にし、悲しみを半分にする

Friendship doubles joy and halves sadness

フリードリヒ・フォン・シラー（劇作家、詩人、思想家）

不遇な時こそ一番友情の度合いがわかる

前田利家（戦国武将）

みなさんは親友と呼べる友人はいますか？自分の弱いところを見せ、見栄を張ることなく自然体でいられる友。一生続く友情関係を育みたいものですね。

